



http://ibashinren.com/
magazine/

いはらき 身障福祉

第81号



題字 佐川清一

編集 一般社団法人茨城県身体障害者福祉団体連合会 水戸市千波町1918 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館
発行者 会長 荻津和良 TEL 029 (241) 8295 FAX 029 (243) 7490



共同募金受益発行



荻津和良会長

令和8年5月29日（金）、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館において、茨城県身体障害者福祉団体連合会の令和8年度第1回理事会を開催しました。理事総数16名に対し15名、監事2名の出席があり、荻津会長の挨拶の後、荻津会長を議長として議事に入りました。

報告第1号 代表理事等の職務執行状況報告
事務局からこれまでの職務執行状況について報告しました。

第1号議案 令和7年度事業報告について
第2号議案 令和7年度収支決算について
両議案を一括して事務局か

令和8年度茨城県 身体障害者福祉団体 連合会第1回理事会 を開催

令和8年度定時総会について、6月8日（月）に書面により協議を行いました。

第1号議案 令和7年度事業報告について
第2号議案 令和7年度収支決算について
第3号議案 公益目的支出計画実施報告について
以上の議案に対して、6月19日（金）までに全会員の書面による同意を得て、提案のとおり総会の決議がありました。

令和8年度 定時総会書面決議

ら説明し、稲田監事の監査結果報告の後、満場一致で原案どおり承認されました。

第3号議案 公益目的支出計画実施報告について
事務局から説明の後、満場一致で原案どおり承認されました。

第4号議案 令和8年度定時総会の開催について
事務局から説明の後、満場一致で原案どおり承認されました。

第5号議案 参与の選任について
事務局から説明の後、満場一致で原案どおり、鈴木聡幸氏（前専務理事兼事務局長）が選任されました。

令和8年度 役員

会長	荻津和良
副会長	軍司有通
理事	吉沢馨
	米川正典
	石津初美
	村上克行
	今井輝勝
	坂場篤視
	藤枝文江
	葛野やす子
	森住純一
	鈴木隆雄
	小林聖司
	根本貴幸
	軽部剛
専務理事	前川吉秀
監事	藤田賢司
	稲田真
	染谷秀樹

新任のごあいさつ

茨城県福祉部障害福祉課長

根本 泰論



この四月から、障害福祉課長に就任いたしました根本でございます。茨城県身体障害者福祉団体連合会の会員の皆様には、日頃から障害者福祉の向上に多大なご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、貴団体におかれましては、障害者社会参加推進センターや福祉バスの運営、相談員研修など多岐にわたる事業を通じて、本県の福祉行政を力強く支えていただいております。さて、本県の障害者福祉施策は、「第3期新しいばらき障害者プラン」に基づき、「ノーマライゼーション」と「完全参加」を基本理念に、権利擁護の推進や就労機会の拡大、文化芸術・スポーツ活動の充実など、総合的な施策を推進しております。

その取組の一環として、就労機会の拡大に向け、「茨城県共同受発注センター」を中心に農福連携等によ

る工賃向上に取り組むほか、今年度からは、実績が優れた事業所の認証や、特色ある取組みを表彰する制度を新たに開始いたしました。

また、皆様の社会参加を支える「障害者福祉バス事業」については、本年度、車両更新に向けた支援を行います。現在の車両の老朽化に伴い、安全な移動手段を確保するため、県として購入費用の補助を実施いたします。

新たな車両は仕様を見直し、車いすのままスムーズに乗降できる「リフト付きマイクロバス」を導入する予定です。これにより、車いすをご利用の方も、より安全に研修会やレクリエーション活動等へ参加いただけるものと考えております。新車両が、皆様の幅広い活動や交流を支える大切な移動手段として、活用されることを願っております。

本年度は当該プランの中間見直しの時期にあたります。社会情勢の変化や皆様のご意見を丁寧に向い、より実効性の高い施策となるよう見直しを進めてまいります。

県では、引き続き、障害のある方やご家族が安心して生活できる地域づくりに邁進してまいりますので、一層のご理解・協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、連合会のみならずのご発展を心より祈念し、挨拶とさせていただきます。

令和8年度 事業計画

Ⅰ 基本方針

国においては、全ての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、第5次障害者基本計画に即して、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策の総合的かつ計画的な推進に政府一体で取り組むとされている。

また、令和6年4月に施行された改正障害者差別解消法により、事業者による合理的配慮の提供が義務化され、国・地方公共団体相互の連携強化や障害を理由とする差別を解消するため、の支援措置の強化が講じられているところである。

茨城県においては、「ノーマライゼーション」と「完全参加」という基本理念のもと、「活力があり、県民が日本一幸せな県づくり」を目指して、令和6年度から令和11年度までを計画期間とする「第3期新しいばらき障害

者プラン」に基づき、引き続き障害福祉施策の総合的な推進を図られているところである。

本会としては、会員団体や身体障害者相談員、障害者福祉関係者等と連携して、共生社会実現に関する研修会の開催や国等の障害者福祉制度等に係る情報提供を行っていくほか、より多くの障害者の社会参加を促進するため障害者福祉バス事業を円滑に行っていくなど、厳しい財政状況の中において効率的な会運営に取り組み、身体障害者の生活の安定と社会参加の促進に寄与するよう努めていく。

さらに、ITなどの新たな手法を上手に活用しながら、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会（以下「日身連」という。）や茨城県、市町村等との連携を密にし、国県等の動向に関する情報収集に努めていく。また、会員団体及び日身連加盟団体等との情報交換や意見交換を積極的に行い、共生社会を目指すための施策が一層充実するよう国県等に働きかけていく。

Ⅱ 事業計画

1. 障害者福祉バス運営事業

より多くの障害者の社会参加

を促進するため、事業の啓発を行うとともに、円滑かつ適切な運営を行うよう安全運転管理に努め事業者の指導を行う。なお、老朽化が進んでいる車両について、事業継続が図られるよう県の支援を受けながら車両更新等に係る調整を進める。

2. 身体障害者福祉活動推進事業

(1) 福祉活動推進事業

障害者に対する生活、医療、就労及び年金などの各種情報の収集・提供を行うとともに、関係機関等と連携し、障害者の自立と社会参加に向けた問題の解決に努める。

(2) 福祉FAX設置・インターネットの活用事業

FAXやインターネットを通じて、障害者の日常生活や就労などに関する情報や国の制度改正に関する情報などの収集・提供を行うほか、オンライン会議や電子メールなどを活用して県等関係機関や団体等との連絡や情報交換を行う。

(3) 広報事業

インターネットのホームページを活用してお知らせ等の情報発信を行う。

また、機関紙『いはらき身障福

祉』を年2回発行し、会員団体をはじめ市町村や関係機関・団体に広く配布し、障害者福祉制度等の動向や本会の活動状況等に関する広報に努め、障害者施策の周知・啓発を図る。(機関紙の主たる財源：共同募金配分金)

3. 身体障害者福祉団体運営費補助事業

本会加盟三団体に対し各団体の独自事業の推進に資するため、運営費(事業費)補助金を交付する。
1団体 457,000円補助

4. 障害者社会参加推進センター運営事業

誰もが安心して明るい生活のできる地域社会の実現に向け、関係機関や団体が一体となった障害者社会参加推進センターを運営し、障害者の自立と社会参加への意識の高揚を図るため、次の事業を行う。

① 障害者社会参加推進協議会

第1回：令和8年6月16日(火)
第2回：令和9年3月2日(火)

② 障害者福祉の集い

・開催日 令和8年10月21日(水)
・場所 坂東市民音楽ホール

ベルフォーレ

・講演 古今亭 菊千代氏
(落語家)

「笑いと元気がとり
もつ人の縁」

③ 障害者福祉団体リーダー研修会

・開催日 令和9年2月10日(水)
・場所 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館

・内容 未定

④ 障害者週間啓発事業

・障害者週間
12月3日(木)～9日(水)

・事業内容

セキショウ・ウェルビーイング福祉会館出入口に「やさしさを行動に」の立看板掲出・懸垂幕掲揚、県主催啓発事業への参加



懸垂幕「やさしさを行動に」

5. 関係障害者福祉団体等連携事業

(1) 日身連が開催する大会等や関東甲信越静ブロック協議会主催の会議への参加等

① 第71回日本身体障害者福祉大会

・6月17日(水)～18日(木)
・福祉大会

・日身連会長表彰(永年功労表彰)

② 日身連関東甲信越静ブロック協議会

◆ 団体長会議
・開催団体 神奈川県身体障害者連合会(6/9～10)



団体長会議

◆代表者会議

・開催団体 栃木県身体障害者福祉会連合会（11/12/13）

◆身体障害者相談員研修会

開催団体 長野県身体障害者福祉協会

日時 7月31日（金）

場所 ホクト文化ホール

（長野県長野市）

講師 長野メディアエーション

研究所代表

依田哲郎氏

内容 「障害者の生活とインクルージョン」

(2)障害者スポーツ大会等の激励等
青森県で開催される全国障害者スポーツ大会に参加する本県選手団に対する激励や応援等を行う。

また、茨城県障害者スポーツ大会に出席し、参加選手への激励と応援等を行う。

6. 相談員活動強化事業

地域生活を営む障害者の抱える悩みなどの相談を受ける「身体障害者相談員」の資質の向上と相談員相互の一層の連携を図るため、茨城県身体障害者相談員連絡協議会と共催で、中央研修会、地区研修会を開催し、地域での相談員活動の活性化を図る。

(1)身体障害者相談員中央研修会

令和8年7月24日（金）、セキショウ・ウエルビーイング福祉会館において中央研修会が開催され、105名（うち相談員60名）の参加がありました。

研修に先立ち、根本泰諭県障害福祉課長、荻津和良会長から挨拶がありました。



高次脳機能障害支援センターの講演の様子

○研修内容（第一部）

「高次脳機能障害について」
茨城県高次脳機能障害支援セ

ンター支援コーディネーターの田中雅明氏、関根春香氏を講師に、高次脳機能障害支援センターの紹介や、高次脳機能障害の概要と対応方法等についての講演があり、質疑が行われました。



下妻市の講演の様子

○研修内容（第二部）

「下妻市身体障害者相談員の活動について」

下妻市福祉課大月貴志課長補佐、横瀬千聡主事、服部佳子相談員を講師に、下妻市における相談員の運用体制・活動実績や、

相談事例についての講演があり、質疑が行われました。

(2)身体障害者相談員地区研修会

◆県央・鹿行・県南地区

・開催日 9月1日（火）

・場所 セキショウ・ウエルビーイング福祉会館

◆県北・県西地区

・開催日 9月18日（金）

・場所 セキショウ・ウエルビーイング福祉会館

7. 要望活動

身体障害者福祉施策の充実を図るため、会員団体の意向を踏まえ、国に対しては日身連を通じて、また、県に対しては県域の福祉団体で構成する茨城県社会福祉予算対策委員会を通じて、要望活動を行う。

8. その他

(1)会議の開催

・監査 5月15日（金）

・理事会

第1回 5月29日（金）

第2回 令和9年3月

・総会 6月8日（月）

（書面決議）

(2)事務局体制

3名体制（事務局長、嘱託職員2名）で執行する。

令和8年度収支予算

令和8年4月1日から令和9年3月31日

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	240	240	0
受取補助金等			
県補助金	21,108	23,698	△ 2,590
受取委託金			
県委託金	4,838	4,640	198
受取配分金			
受取配分金	200	200	0
受取寄付金			
受取寄付金	250	250	0
割戻金			
割戻金	300	400	△ 100
雑収入			
受取利息等	1	1	0
経常収益計	26,937	29,429	△ 2,492
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	3,191	3,087	104
報酬	3,370	3,261	109
諸手当	2,430	2,355	75
共済費	1,510	1,506	4
旅費交通費	269	240	29
備品費	10	9	1
需用費	3,707	6,331	△ 2,624
役務費	637	563	74
使用料及び賃借料	1,220	1,154	66
報償費	934	880	54
公課費	75	75	0
業務委託費	4,726	5,022	△ 296
補助金	1,412	1,592	△ 180
減価償却費	0	0	0
雑費	120	120	0
事業費計	23,611	26,195	△ 2,584
管理費			
会議費	250	250	0
給料手当	1,368	1,323	45
報酬	374	362	12
諸手当	721	693	28
共済費	410	408	2
旅費交通費	97	97	0
備品費	0	0	0
需用費	395	395	0
役務費	209	209	0
公課費	66	66	0
使用料及び賃借料	125	125	0
分担金	160	160	0
減価償却費	0	0	0
雑費	100	100	0
管理費計	4,275	4,188	87
経常費用計	27,886	30,383	△ 2,497
当期経常増減額	△ 949	△ 954	
当期一般正味財産増減額	△ 949	△ 954	
II 固定資産取得に係る収支の部			
(1) 受取補助金（県補助金）	23,672	0	23,672
(2) 車両購入費（固定資産取得支出）	23,672	0	23,672
収支差額	0	0	0

『第71回日本身体障害者福祉大会 せんだい大会』開催

「第71回日本身体障害者福祉大会 せんだい大会」が、6月17日（水）から18日（木）の2日間、宮城県仙台市の仙台サンプラザホテルを会場に、全国の身体障害者団体の関係者等、延べ1,072人の参加のもと開催されました。

1日目は、日身連定時評議員会の後、「都道府県・市町村組織などの活性化」をテーマに、事例発表や意見交換会が行われました。

事例発表では、安部眞氏（山形県身体障害者福祉協会会長）から「会員拡大に向けた取り組み」について、林徳太郎氏（徳島県身体障害者連合会理事長）から「新時代に向けて―四身連結成と組織改革―」について発表があり、その後、意見交換が行われました。

2日目は、福祉大会せんだい大会が開催され、第1部では、式典、日身連会長表彰、大会宣言・大会決議の採択が行われました。

また、第2部の講演会では、東北大学副学長・津波工学教授（災害科学国際研究所）の今村文彦氏を講師に「地域共生社会と防災を

考える―東日本大震災での経験と教訓―と題する講演が行われ、「きちんと実効性のある個別避難計画を作成することが重要」「災害に強い地域とは、平時から誰も排除されずにつながっている地域である」となどの教訓が示されました。



日身連副会長として、閉会のあいさつをする荻津会長

【大会決議】

一、連携の輪を広げ、地域から組織の力を高めていこう

一、声をつなぎ、地域の障害福祉を前進させよう

一、障害理解を広げ、地域で安心して暮らせる共生社会をつくろう

軍司有通副会長が 日身連会長表彰を受賞

長年にわたり障害者福祉に寄与し顕著な功績のあった40名が日身連会長表彰を受けられました。茨城県からは当会の軍司有通副会長が受賞しました。



軍司副会長

障害者福祉バスを ご利用ください



今年度、県補助により、障害者福祉バスの車両を更新する予定です。現時点では、納車時期が未定のため、利用予約は、当面、12月分までとさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、ご予約は、左記委託業者にお問い合わせください。
（申込・問い合わせ先）

〒310-0813

水戸市浜田町415番地3

有限会社 a c c 研究所

TEL 029-2228-3333

FAX 029-2222-2537



障害者福祉バス

いはらきパラアーティスト フェスティバル2026 (旧ナイスハートふれあい フェスティバル) 美術展 (一般の部) 募集案内

茨城県障害者スポーツ・文化協会
では、障害児者が制作した作品を展
示等してくださる方を、次の日程で
募集しています。

日程：12月3日(木)～7日(月)

※7日は午前のみ

搬入日：12月1日(火)

搬出日：12月7日(月)

※搬入出の時間は、別途、申込
団体に連絡されます

会場：ザ・ヒロサワ・シティ会館

集会室1～4

申込み期限：10月5日(金)

応募作品：絵画、書道、写真、陶

芸・工芸

※開催要項等の詳細は、県障害福祉
課ホームページに掲載されています。

URL: <https://www.pref.ibaraki.jp/hok-enfukushi/shofuku/kakaku/shofuku/8.html>



会員団体の動き

一般社団法人茨城県身体 障害者福祉協議会 令和8年度事業計画

障害のある人もない人も共に地
域の一員として生きることのでき
るノーマライゼーション社会の実
現のため、県・市町村・各団体な
ど関係機関との連携を緊密に図
り、各種事業に取り組みます。

1 県委託事業

(1) 第52回山の集い

自然を満喫しながら歩行を通し



R8年度通常総会 あいさつをする米川会長

て機能回復訓練を行います。

・日程 10月23日(金)

・場所 古河公方公園

(2) 第48回銀輪の集い

車いす利用者の方が車いす走行
により機能回復訓練等を行います。

・日程等 第52回山の集いに同じ

(3) 若人の集い

青年層等の参加者を募り、交流
を通じて相互の友愛を深めます。
今年はボッチャ競技を予定。

・日程 11月22日(日)

・場所 なか LuckyFEM

公園アリーナ

(4) 結婚相談事業

① クローバースクラブ日曜交流会

第1回

・日程 7月5日(日)

・場所 セキショウ・ウエル

ビーイング福祉会館

第2回

・日時 12月13日(日)

・場所 ザ・ホテル・ウエスト

ヒルズ・水戸

② 結婚相談

・相談日 毎週月～金曜日

9時～16時

③ 関東甲信越静ブロック合同友愛 の集い

関東近県の結婚希望者との交流

・日程 10月3日(土)

・場所 横浜市

④ 関東甲信越静ブロック障害者

結婚相談実務担当者連絡会

・日程 4月24日(金)

・場所 横浜市

2 県及び県スポーツ文化協会補 助(助成)事業

(1) 身体障害者各種スポーツ大会選
手派遣・助成事業

全国スポーツ大会等への選手派
遣に係る経費の一部を助成します。

(2) 総合相談・自立支援推進事業

① 総合相談 9時～17時。

身体障害者の相談に応じ、
助言や関係機関への紹介を行
います。

② 地区就労支援相談員研修会

・日程 6月19日(金)

・場所 セキショウ・ウエル

ビーイング福祉会館

3 青年部会事業

(1) 若人の集い(前記)

(2) 第29回ゆうあいカラオケ歌謡発
表会

カラオケに親しみながら、社会
参加や自立促進、地域社会におけ
る友愛の輪を広げます。

・日程 7月12日(日)

・場所 セキショウ・ウエル

ビーイング福祉会館

(3) 第25回ゆうあい卓球大会

健全者と障害者が卓球を通して
交流を深め、体力増進とともに社

会参加や自立促進を図ります。

- ・日程 9月19日(土)
- ・場所 ひたちなか市総合運動公園体育館



R8ゆうあいカラオケ歌謡発表会
抽選による参加者同士のデュエット

4 その他の事業

- (1) 役員研修会
各市町村身体障害者福祉団体における組織強化や役員の資質向上を目的に実施します。
- ・日程 1月21日(木) ～ 22日(金)
- ・場所 ホテルクリスタルパレス
- (2) 団体交流会
本協議会及び各市町村身体障害者福祉団体の役員等が交流し意見交換します。
- ・日程 10月9日(金)
- ・場所 朝日里山学校
- (3) 会報「身障いはらき」の発行(茨城県共同募金配分申請事業)
10月と3月に各2,500部発行します。

(4) 障害者週間の行事参加

- 茨城県等主催の「いはらきパラアーティストフェスティバル2026」に参加、協力します。
- ・日程 12月3日(木) ～ 7日(月)
- ・場所 ザ・ヒロサワシティ会館
- (5) その他
県や関係団体が主催する各種大会等への出席、ジパング倶楽部への加入促進などに努めます。

令和8年度役員

役員は次のとおりです。

- 名誉会長 高木 昇(常陸太田市)
- 相談役 高野重彦(龍ヶ崎市)
- 会長 米川正典(鉾田市)
- 副会長 中島秀男(石岡市)
- 藤田賢司(大子町)
- 石津初美(鹿嶋市)
- 村上克行(龍ヶ崎市)
- 今井輝勝(古河市)
- 荻津和良(茨城町)
- 軍司有通(那珂市)
- 齊藤茂雄(取手市)
- 大野幸一(美浦村)
- 荒井栄司(つくばみらい市)
- 服部佳子(下妻市)
- 伊藤東樹(青年部会)
- 山間松代(神栖市)
- 中島隆久(かすみがうら市)
- 監事

社会福祉法人 茨城県視覚障害者協会 令和8年度事業計画

I 令和8年度運営方針

社会福祉法人制度改革の趣旨に対応し、新たな社会福祉法人として自覚と責任のもと組織の管理運営を実践し、事業運営の透明性向上や財務規律の強化に取り組みでまいりました。引き続き自らが主体的意識をもって運営し、組織運営の適正化や財務基盤の充実・強化を図ります。

また、県立視覚障害者福祉センター・点字図書館の第五期指定管理者として、適切かつ効果的に事業を推進します。

社会福祉事業の主たる担い手として、より一層公益的な取り組みや各種事業を推進し、視覚障害者の自立と社会参加を支援してまいります。

1 組織運営や事業活動にあたり、日視連や障害者団体との連携・相互交流を図ります。

2 組織の弱体化防止のため積極的に事業を展開し、地元団体・会員との緊密な連携強化を図ります。

3 県立視覚障害者福祉センター・

点字図書館については、計画的に施設の修繕工事等を行い、専門性や経験等を活かして視覚障害者に対する各種事業の充実を図ってまいります。

4 協会ホームページや声の掲示板等の広報媒体を最大限に活用し、視覚障害者への情報提供をより一層充実します。

5 視覚障害者とその家族等に対し、福祉サービスの利用・問題等に関する相談に応じ、課題解決に向けた「ふれあいサロン」の運営や、外出時の移動・視覚情報を支援する同行援護従業者養成研修事業等に取り組みます。

6 障害者福祉の担い手となる市町村に対し、補装具・日常生活用具等、市町村における視覚障害者福祉施策の充実と格差解消に向けた働きかけを進めます。

7 「第40回日視連関東ブロック視覚障害者STT茨城大会」に向けて準備を進め、適切かつ円滑に運営します。

8 茨城県議会議員選挙等の選挙公報・候補者等名簿の作成については、正確かつ迅速に対応します。

II 令和8年度事業

1. 本部運営事業

① 理事会・評議員会の開催

- ② 社会福祉法人制度改革への対応
- ③ 第40回日視連関東ブロック視覚障害者STT茨城大会の開催
- ④ 就労（あはき業）関係
- ⑤ 陳情・要望活動

2. 社会参加促進事業

- ① 関係団体との連携
- ② 研修会及び大会への参加
- ③ ふれあいサロン（当事者相談）の実施
- ④ 芸術・文化活動
- ⑤ スポーツ活動

3. 地域生活支援事業

- ① 同行援護従業者養成研修の開催
- ② 市町村広報等の発行
- ③ 選挙公報・候補者名簿の作成
- ④ 会議・案内資料等の作成
- ⑤ 研修会・講習会等の支援
- ⑥ 水戸市委託点訳奉仕員養成講習会の開催

4. 指定管理事業

- ① 施設の維持・管理
- ② 点字図書等の閲覧・貸出
- ③ 点訳・朗読奉仕員養成事業
- ④ 点字即時情報ネットワーク事業
- ⑤ 点字広報等発行事業
- ⑥ 生活訓練等事業
- ⑦ 中途失明者緊急生活訓練事業
- ⑧ 視覚障害者生活相談事業

5. 視覚障害者支援用具斡旋事業



社会生活教室
ドコモ・ハーティー講座



家庭生活訓練事業
バスフレグランスフラワー教室

令和8年度役員

理事長	軍司 有通
業務執行理事	石橋 純一
理事	森住 やす子
葛野 真	稲田 敏
小林 祐	小口 介
大里 江	川口 里

監事 小島 佐藤 嵩 陵
石橋 丈夫

一般社団法人 茨城県聴覚障害者協会 令和8年度事業計画

基本方針案

1. 会員拡大

2025年度の会員数は関東ろう者体育大会開催の影響で前年と比べて増加しました。しかし、会員の高齢化が進んでおり、若い世代の会員は依然として少ない状況です。加えて、選手達の退会による減少が心配です。若年層へ加入を呼びかけていますが、会員増加にはつながりにくい現状があります。そのため、今後は若い世代にも当協会の活動を知ってもらう機会を増やし、関係団体等と連携しながら会員拡大に取り組みます。

2. 手話言語の国際デー（手話の日）の認知拡大と啓発活動

9月23日の「手話言語の国際デー」（手話の日）の認知度向上を目的として、関係機関や団体と連携しながらブルーライトアップなどの啓発活動を推進します。県民に対して手話が言語であることへの理解を深め、聴覚障害者への理解促進を図ります。

3. 手話施策推進法の勉強会

2025年6月に施行された手話施策推進法について理解を深めるため、勉強会や研修会の開催を検討します。会員および関係者への周知を図るとともに、行政や関係団体と連携しながら、茨城県内における手話施策の推進につなげていきます。

4. 第22回茨城県聴覚障害者大会

2027年2月に開催予定の第22回茨城県聴覚障害者大会に向けて、関係団体と連携しながら準備を進めます。大会を通じて、聴覚障害者の交流を深めるとともに、社会参加の促進と県民への理解啓発を図ります。

事業計画

1. 第22回茨城県聴覚障害者大会（担当…企画委員会）

2. 敬老会（担当…福祉委員会）

3. 労働サロン（担当…労働委員会）

4. 第2回ともに学ぶ教育のつどい（担当…教育委員会）

5. パンポンと卓球バレー交流会（担当…体育部）

6. 機関紙発行事業（担当…広報委員会）

〈2025年度自主事業状況〉

